

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 08 09	中期総合計画主要施策番号	3-04	担当課	部・課	健康福祉部健康長寿課介護支援室	
事業名	介護基盤緊急整備等臨時特例基金事業				内線	2440	
					E-mail	kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H21 ~ H24	根拠法令等	介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金交付要綱 / 長野県老人福祉計画・第4期介護保険事業支援計画				
実施方法	市町村、社会福祉法人等へ補助金を交付し実施					国庫・県単	国庫補助事業
事業の概要等	目的(必要性)	市町村、社会福祉法人等が行う小規模特別養護老人ホーム、小規模老人保険施設、認知症高齢者グループホーム等の介護基盤の整備及び広域型特別養護老人ホーム等の既存施設のスプリンクラー整備に要する経費への助成を行い、長野県高齢者プランの推進及び施設入居者の安全の確保、居住環境の向上を図る。					
	対象	市町村、社会福祉法人等					
	目指すべき姿	特別養護老人ホーム等の整備を進め、入居希望者が入居しやすくなる環境を整える。スプリンクラー設置により入居者の安全の向上を図る。					
	事業内容	定員29名以下の小規模特別養護老人ホーム等の創設や増設に対して、工事費等の必要経費を助成する。 既存の老人福祉施設等のスプリンクラー等整備に対して、工事費等の必要経費を助成する。 国の緊急経済対策として平成21年度から23年度までに県に交付された交付金を財源とした基金により、24年度まで実施される事業である。					
事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・補助金:3,246,565千円(安曇野市以下38市町村、(社福)孝明以下44団体) (H22 H23への繰越額:1,095,904千円) (H23 H24への繰越額:161,276千円) 基金積立金を除いた金額
	最終予算額 (A)		千円	*3,729,941	*3,426,956	*1,209,517	
	決算額 (B)		千円	*2,461,466	*3,246,565		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	
	概算人件費	従事する職員数	人	1.50	1.50	1.50	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	2,473,942	3,439,343	1,221,904	
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標 算出式) *それぞれに補助単価が異なるため、一番要望の多い小規模多機能等の補助単価30,000千円とした。
	小規模特別養護老人ホーム等創設数(活)		箇所	90	105	18	
	スプリンクラー整備施設数(活)		箇所	35	76	20	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 小規模多機能事業所等補助単価		千円	30,000	30,000	30,000	
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分 b 期待どおり
	県において造成した介護基盤緊急整備臨時特例金を活用し、各市町村及び事業者の整備計画に基づく助成を行い、必要な整備を促進する。			小規模特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の整備105か所、スプリンクラー整備76か所の整備に対し助成を行った。			
事業の課題	区分		判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・市町村が行う地域密着型施設の整備は高齢者プランにおいても主要施策であり、事業ニーズは高い。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)		・今年度も長野県高齢者プランの目標に沿った計画的な施設整備及びスプリンクラー整備に対する支援を進めていく。				
	特記事項						